

令和 7 年度

熊本県立大学 総合管理学部

総合管理学科

一般選抜(前期日程) 個別学力検査

小 論 文

問 題 用 紙

- (1) 問題用紙は、この表紙を含めて14ページあります。
- (2) 問題は、全部で3問（問題1から問題3まで）あります。3問すべてに答えなさい。
- (3) 解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- (4) この問題用紙及び下書き用紙は持ち帰って結構です。

※末尾に問題訂正の内容を添付しています。
(当日配付または板書により周知したもの。)

(入試問題は、4 ページからです。)

(入試問題は、4 ページからです。)

問題1 資料1を読んで、以下の(1)から(3)の問いに答えなさい。

(1) 下線部の㉗㉘㉙の漢字の読みをひらがなで書き、㉚㉛のカタカナを漢字で書きなさい。

(2) 以下のアからオの記述について、資料1から読み取れる内容として、適切なものには○を、適切でないものには×を書きなさい。

ア 食料問題と食品ロスが関係しているのは、特に論理の飛躍もなく、容易に理解することができる。

イ 食べ残しは消費者の意識で全て改善可能である。

ウ 調理時の過剰除去については、家庭内よりも事業者側に課題が多く残っている。

エ 日本の食品ロスの背景には、過剰な便利さ、嗜好性、安全基準が存在する可能性がある。

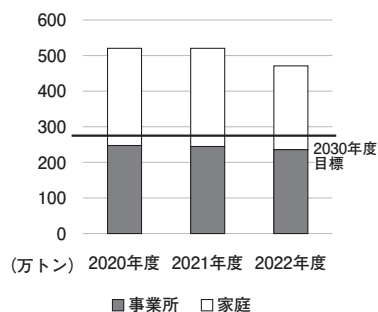
オ 食品ロスの観点からも、食品の安全基準は高いほど良い。

(3) フードセーフティの背景にはどのような食品ロスが関連していると筆者は述べているか、具体的な食品ロスの形態を挙げながら、50字以内で答えなさい。

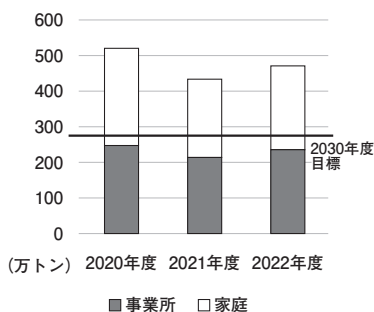
問題2 資料2を読んで、以下の（1）から（3）の問いに答えなさい。

- （1）下線部①について、食品ロスの発生量の推移と目標値を表した図として正しいものを以下のアからカの中から1つ選び、記号で答えなさい。

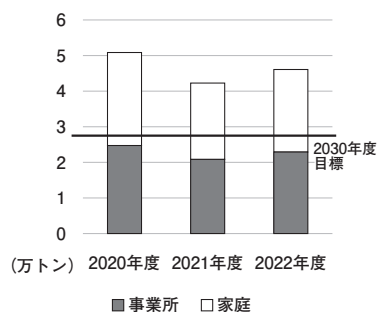
ア



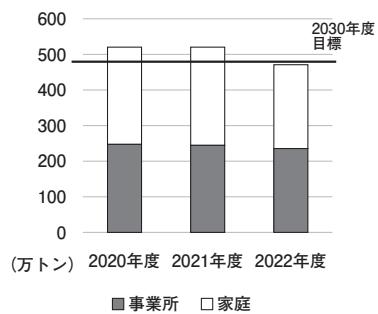
イ



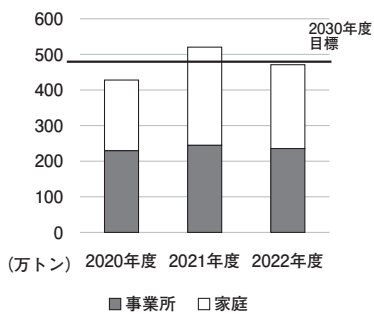
ウ



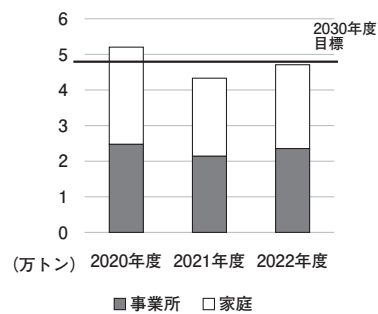
エ



オ



カ



- （2）下線部②を日本語に訳しなさい。
- （3）下線部③となった理由について、資料2から読み取れる内容として、適切なものには○を、適切でないものには×を書きなさい。

- ア 食品需給予測の正確さの向上
- イ 飲食店・小売店の営業時間短縮
- ウ 食べられる部分の過剰な除去の減少
- エ 円安を反映した原材料価格の下落による余剰食品の減産
- オ 未開封のまま廃棄された食品の減少

問題3 **資料3**を読んで、以下の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 以下のアからオの記述について、**資料3**から読み取れる内容として、適切なものには○を、適切でないものには×を書きなさい。

ア 食品ロス問題を「あまり知らない」「全く知らない」を合わせた割合は、全ての年代を比較して、70代以上、60代、50代の順に低い。

イ 食品ロス問題を「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた割合が全体平均よりも高いのは、10代、60代、70代以上である。

ウ 年代ごとに見ると、寄附による事故の責任の免除が効果的だと回答した割合が最も高いのは、60代である。

エ 年代ごとに見ると、寄附先による温度管理や衛生管理などの食中毒防止の取組が効果的だと回答した割合が、全ての年代で最も高い。

オ 寄附の取組として具体的に挙げられているもののうち、寄附した後の情報の開示は、効果的と答えた回答者の割合が最も低い。

(2) **資料3**からわかる、食品ロス問題の認知度と、寄附の意識の世代間の違いを挙げ、その背景についてあなたの考えを100字以内で述べなさい。

問題4 今後の食品ロスに対してどのように取り組むべきか。事業者側と消費者側それぞれの立場から、**資料1**から**資料3**までを参考にしながら、あなたの考えを200字以内で論理的に述べなさい。

資料 1

以下は小林富雄『食品ロス of 経済学』の、書籍の全体像が説明されている第 1 章「本書の課題と分析の枠組み」の抜粋である。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) 小林富雄『増補 改訂新版 食品ロスの経済学』農林統計出版(2020年)、1～5頁
〈一部抜粋〉

(試験問題追加注)

(出典) 『デジタル大辞泉』小学館、<https://daijisen.jp/digital/> 〈一部抜粋〉

資料 2

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) The Japan Times, “Japan’s food loss hits a record low in fiscal 2022”, Jun. 21. 2024
<https://www.japantimes.co.jp/news/2024/06/21/japan/society/food-loss-japan/>

* fiscal 2022	2022年度
* preceding	前の
* metric tons	トン（質量単位、1000キロ）
* record lows	記録的な低さ
* Consumer Affairs Agency	消費者庁
* Environment Ministry	環境省
* Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries	農林水産省
* economic loss	経済損失
* trillion	1 兆
* halve	半減する
* business	事業所
* momentum	勢い
* official in charge	担当職員
* retailer	小売店
* cutback	削減
* surplus	余剰
* accuracy	正確さ
* COVID-19 pandemic	コロナウイルス感染症の大流行
* discard	捨てる
* leftover	食べ残し
* edible	食べられる

資料 3

以下の表 1、表 2 は、消費者庁による食品ロス問題の現状に関する調査結果の抜粋である。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) 消費者庁「令和 5 年度第 2 回消費者意識調査」集計表（クロス集計）より作成
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_003/

問題の訂正

総合管理学部 総合管理学科

小論文

【問題訂正】

○問題用紙 1 ページ目 表紙 注意事項の(2)について、以下の下線のとおり、文言を訂正します。

誤) (2) 問題は、全部で3問(問題1から問題3まで)あります。3問すべてに答えなさい。

正) (2) 問題は、全部で4問(問題1から問題4まで)あります。4問すべてに答えなさい。

問題の訂正

総合管理学部 総合管理学科

小論文

【問題訂正】

○問題用紙 6ページ 問題3 (1) イの記述について、以下の下線のとおり、文言を訂正します。

誤) 合わせた割合が全体平均よりも高いのは、

正) 合わせた割合が全体よりも高いのは、